

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路管理放射能対策事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内、小中学校通学路の排水施設等の除染	意図	排水施設等の放射線量を低減することで、児童、市民の健康への配慮や不安を解消する。
事業内容	・汚泥仮置場の土地借上げ			
事業開始から現在までの状況変化	・福島原発の事故により、汚染状況重点調査区域に流山市が指定されたことから、放射線量の低減を図るため、流山市除染実施計画及び環境省「汚染関係ガイドライン」等に基づき、道路排水施設の清掃等を実施した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	フレコンパックの購入	46	0	0	袋	↓↓↓	フレコンパックの購入総数
	汚泥脱水処理	0	0	0	t	↓↓↓	汚泥等回収総重量
	汚泥仮置場	403	403	403	m ²	↓↓↓	仮置場の借地面積
	道路排水施設等の清掃	39,928	0	4,180	m		清掃延長
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・流山市除染実施計画及び環境省「汚染関係ガイドライン」等に基づき、通学路の空間線量を測定し、除染区域を決定後、早急に排水施設等の除染を実施した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		118,675,030	9,747,606	9,745,371			
事業費(b)(円)		115,086,030	9,048,906	9,054,444			
うち一般財源		78,008,553	9,048,906	9,054,444			
職員給与費(c)(円)		3,589,000	698,700	690,927			
人役・職員(人)		0.50	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画		取り組みの課題	
今年度(H26)に実施した取り組み		今後の改善計画	・流山市内の通学路に関わる除染対応は終結。